

監修 野村 実 / 編集 国沢卓之

## 初心者から研修医のための 経食道心エコー ー部長も科長もみんな初心者ー



本書を手にとったのは、2008年6月に横浜で開催された日本麻酔科学会第55回学術集会の書籍売り場であった。表紙はピンク、はじめは看護師向けの本かと思って近づいてみる。実はそうではなかった。初心者向けの経食道心エコーの本？ ではあるが、タイトルをよく読んでみると、最後に「部長も科長もみんな初心者」とあり、ちょっと挑戦的なニオイがする。監修は野村実先生、編集は国沢卓之先生と思いながら監修の言葉を読み、目次を眺めて全体の構成をチェックする。全体はA～Fの6項目で構成されており、項目ごとの扉ページもピンクである。ここで、出版社が気になり、あらためて表紙を見ると、真興交易㈱医書出版部である。「うっそー」と心の中で叫んでしまった。管理人の感覚としては真興交易の書籍はお堅いイメージでここまでのものはみたことがない。ここで、頭の中に野村先生と国沢先生の顔が交互に浮かんできて、しばらく2人の顔がぐるぐる回る。どちらがこだわったのか？ そんなことを考えながら、内容を吟味し始めた。

項目立ては、A「今日から始める TEE」、B「昨日から始めた TEE」、C「診断してみよう」、D「手術で活用しよう」、E「リスクの低い心臓手術マスター」、F「難しいことを少し理解しよう」という構成で、易しい内容から難しい内容になるような配慮がある。監修者序文によると、2006年の秋に旭川で行われた日本臨床麻酔学会の TEE ワークショップを発展させた書籍である。執筆者をチェックしてみると、JB-POT（日本周術期経食道心エコー認定試験）の講習会でよく講演されている TEE では著明な先生方で構成されている。各先生方が担当されている単元を見直してみると、確かに各執筆者の講演時の特徴が表現されている。

初心者向けの書籍の常套手段として、「要点」を単元のはじめに短い言葉で列挙するというポイントは外していない。さすがである。

初級者から中級者向けの TIPS がメインであるが、中には力が有り余っていて上級者向けの TIPS も混在している。これも執筆者ごと

- ・真興交易㈱医書出版部
- ・2008年6月 第1版第1刷発行
- ・B5判/308頁/並製本
- ・定価（本体6,200円＋税）（送料380円）
- ・ISBN 978-4-88003-811-7 C3047

の特徴としてとらえられる。もう1つの特徴として Coffee break がおもしろい。著者が TEE を始めたきっかけ、失敗談、TEE 習得の方法、学習法などがちりばめられている。各著者の勉強法の考え方などが現れていて他の教科書とは異なる雰囲気を感じる部分でもある。

タイトルには初心者から研修医のためのとあるが、JB-POT 受験者にも非常に役立つと思う。教科書だけでは十分に理解できなかったことが要領よくまとめられているため、JB-POT 受験時のサブノートとしての活用も考えられる。基本的に項目ごとに完結しているので、ある程度、勉強した先生は、どこから読み始めても問題ない。むしろ、細切れの時間にある程度まとまった内容を理解できるような構成であると思った。

JB-POT 日本周術期経食道心エコー認定委員会 (<http://www.jb-pot.com/>) のホームページの資料によれば、JB-POT の2004～2007年の平均合格率は49%である。本書の発売により JB-POT 受験者が試験のヤマをはりやすくなり、合格率が上昇するのではないかと、管理人は密かに思っている。管理人が受験した頃\*に、この書籍があったら、きっと一発で合格したに違いない。

\*msanuki.com> JB-POT 受験記 <http://msanuki.com/jbpot.html>

讃岐美智義

(広島大学大学院医歯薬学総合研究科麻酔蘇生学)